

緑友 だより

NO. 38

51 / 8

全国印刷緑友会機関誌

東京都杉並区和田1-29-11 (社)日本印刷技術協会内

◇発行人=筒井尚亮 ◇編集人=作道亮雄

第19回全国大会迫る

9月18・19日水戸市で開催へ

第19回全国印刷緑友会茨城大会もあと1月余に迫りました。地元茨城緑友会では1年の歳月をかけて苦心の準備を進め、開幕を待つばかりになりました。日程とプログラムは次のように決まりました。全国の仲間参加を求めます。まもなく水戸で会いましょう。

◇日程=昭和51年9月18日(土)、19日(日)

◇場所=水戸市茨城県民文化センター

◇登録料=1万8千円(エクスカージョンを含む)

<スケジュール>

▷第1日:11~12時登録、12~13時大会、13~13・10
剣舞鑑賞、13・10~14・10記念講演(茨城大学名誉教授・塚本勝義氏)、14・30~16・30分
科会、18時~20時懇親会(大洗ホテル)

▷第2日:6時地曳網、朝食、9時~9・45分科会報
告、9・45~9・55次期大会開催地代表あい
さつ、会旗伝達、10時閉会、記念撮影、10・
30~15時エクスカージョン(原子力研究所、

借楽園、弘道館)、15時解散。

◇大会テーマ=「緑・調和・魁」

(緑は緑友会と希望の色、魁は天下にさきがける茨城の意気を表わす)

<分科会>(敬称略)

◇第1分科会=「中小企業における賃金問題」テー
ブルリーダー・作道亮雄(大阪)、サブリーダー・満谷
健作(大阪)

◇第2分科会=「構改後の取組み方」テーブルリー
ダー・青木宏至(千代田)、サブリーダー・小林忍(千
代田)

◇第3分科会=「コールド化と活版印刷」テーブル
リーダー・飯田範夫(長野)、サブリーダー・太田博美
(長野)

◇第4分科会=「印刷料金」テーブルリーダー・渡辺
守将(北九州)、サブリーダー・白石勝久(北九州)

発展の先鋒として

茨城緑友会/幹事長 長倉克彦

全国緑友のみなさん、こんにちは。

第19回全国印刷緑友会茨城大会もあと1カ月余に迫りました。

われわれ茨城緑友会は、この大会をなんとか成功裡に終了させたいと、会員一同準備を進めております。

大会テーマも「緑・調和・魁(さきがけ)」と決定いたしました。これは「緑友みんなが協力し、不況打開印刷業界発展のための先鋒となろう、ということの意味しております。

2日間の大会を通して、日頃みなさんが考え、悩んでいることを率直にぶつけ合って、その中から明日の

進むべき道を見出していきたいと思います。また田舎の良さを見直し、少しでも心の安らぎを感じていただければ幸いです。

今後いろいろみなさんにご協力をいただかねばならないこともあると思います。どうかわれわれの意気を感じていただき、ご指導ご協力を切にお願いいたします。

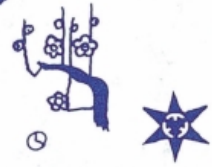
最後に全国緑友のみなさんの多数のご参加を会員一同心からお待ちいたしております。

「9月には、水戸でお会いしましょう!」

百 緑友風土記

りょく ゆう ふ ど き

—— 各地のグループだより ——



夏から秋への作戦でご多忙の中を、こんども「風土記」アンケートに格段のご協力をいただきました。返信パスされたグループ各位、次回にどうかよろしくお願ひします。
行事計画、ひとくちレポート、お台所のミニリサーチなど各地の活動ぶりをお互いにしのび合うよすがに
（カットは今年の総会、大会開催地にちなみ、神戸市章と水戸のシンボル梅花と市章をあしらいました）

★第1部 / 各地の行事計画

グループ名	7月	8月	9月	10月
仙台刷親会	—	業務研究部会の勉強会	印刷業野球大会	ゴルフ大会
茨城緑友会	全国大会準備	全国大会準備	第19回全国印刷緑友会 茨城大会主管	未定
福島印刷彩友会	初級者向けゴルフ練習会（3回連続）	—	東北青年印刷人協議会のホスト、セミナー予定	—
長野青年印刷人緑友会	「題のない15分スピーチ」 （1人15分×3名） あと納涼大会	精神修養「坐禅」 （8・21～22日）	全国大会参加、新潟印刷機材展参加、大会報告会	紅葉狩家族慰安会
印刷同友会	箱根納涼懇親会 （ゴルフ、麻雀、色イロ、各コースあり）	家族サービスのため休み	定例集会 （テーマ未定）	自主集会 （ゴルフ大会になる） 予定
千代田印刷人新世会	ゴルフ会 （武蔵カントリー）	チャリティ事業	総会 （熱海・青木館）	研修会 （予定）
東京写真製版若葉会	勉強会/ 営業マン教育 上旬＝ 写植、版下 下旬＝ 平版、見積 千葉で釣大会	勉強会/話し方教室	関西見学 （従業員対象、大日本スクリーンほか） 2社見学予定	観劇会、撮影大会
神奈川正和会	納涼懇親会 （ナイトクラブで）	正和会20周年記念準備	同友会とゴルフコンペ	未定
名古屋而立会	懇親会 大県神社祢宜・飯田清春氏の「生命力」聴講	納涼会	家族会	講演会
ぎふ印刷翠陽クラブ	奥様同伴研修会 「子供幼児の教育」 教育センター・ 宮脇修氏	1日自衛隊入隊	人生講話 （サンコージェーン） 専務・板津栄子氏	家族会

グループ名	7 月	8 月	9 月	10 月
大阪青年印刷人クラブ	1日研修会 「中小企業における 賃金体系の確立と賞 与配分の決定方式」 D I C 総務部長・末 次氏を講師に	○研 修 会 「同族企業における 相続問題」 公認会計士・大谷氏 ○体力測定とビールパ ーティ	第12回夏期セミナー (有馬温泉・講師3名)	○話し方教室 ○家 族 会
福 岡 印 刷 若 葉 会	○納 涼 例 会 (ピアガーデン) ○親睦ゴルフ会	○第11回夏期セミナー (8.27～29) ○営業マン手帳作製	○新入社員キャンプ (協組共催) ○例 会	○営業マンセミナー ○親睦柿狩り (家族同伴)
熊 本 印 刷 緑 友 会	研修会(工場見学) 担当：藤井会員	親 睦 会 (ヨットセーリング、 一泊二日、八千代海) 担当：村山会員	通常例会	親 睦 会 (紅葉狩り、矢部町) 担当：吉井会員
佐 賀 県 印 刷 若 楠 会	第2回西日本青年印刷 人のつどい 第1回準備会	軽印刷のすべて	全国緑友会 水戸大会出席	釣り大会

★第2部 / ひとくち 一口レポ

業界や会の近況、皆さんの心境、雑感など、何でも結構というわけで「一口レポート」をお願いしましたところ、多数の寄稿をいただきました。ことばは「一口」ですが、その意味するところ汲み尽すに余りあるという感じ。以下、順不同でご紹介。

【茨城から】 現在のところ、全国大会主管のため一週間に一度くらいずつの集りをもって、参加される皆さんに少しでも喜んでいただけるように準備いたしております。そちらとにかく全力投球の状態です。
(長倉克彦)

【岐阜から】 印刷予算の伸び悩みで、仕事はあれど値段が通らず、安物で多忙な昨今です。

紙の値上がりも響いて来ます。ボーナスも官公庁のようにはいきかねます。涼しかった梅雨がせめてもなぐさめ。がんばりましょう。なお、3・4・5月は統一テーマで、「計量管理の技術」を研修しました。
(飯尾 寛)

【同友会から】 6月の定例集会で日経連調査部長の藤井得三氏の講演を聞きました。やはり賞与に関しては各社とも情勢をつかみにくく、前年より下回らない額を出すよう努力し、一部ではあるが職能的なものを加味したものが出てきている。これからはなお一層人の使い方がむずかしくなってくる故、会社の組織機構の改革が急務である。量から質へ切りかえて行くこと、会社を拡大するときは別会社をつくる。少数精鋭部隊をつくる方が経済的だといっていました。
(小林 直)

【千代田から】 現在の会員数45名を50名にまでしたい気持ち。6月より会員が四つの分科会にそれぞれ所

属し、自主的研究に入った。今後一年のうちに、何かまとめを行なうつもり。
(青木宏至)

【文京から】 年度がわりの準備中。相変わらず仕事の量が不足。ヒマです。
(森林文雄)

【製版若葉会(東京)から】 先日、皇居一周マラソン大会を開催しましたが、好評につき70名からの参加。事故もなく、ほっとしました。記録は1位が4.9㌾で18分台です。
(竹田正道)

【仙台から】 昨年創立20周年記念行事をやって、今年はホット一息ついているところです。地味な活動を今年はやります。

役員が変わり、事務局住所も下記になりましたのでよろしく。
(今野敦之)

☆980 仙台市北目町2番47号
恰郷家印刷所 郷家忠明
(電話 0222-66-3443)

【福島から】 景気の上向きをチラホラ耳にするが実感はまったく反対。5～6月の当地の営業実績は昨年を下回るとか。早く春(?)がこないかなという感じ。お天気も例年になく冷気にいたずらされているので、景気まで冷めた感じ。
(A・Y)

【佐賀から】 来年の西日本青年印刷人の集い準備

で大変なことと思っております。また会員皆さんが集ってくれるか心配です。立派な集いはできないかも知れませんが、精一杯準備します。西日本の会員の方々来年6月お待ちしております。（若楠会一同）

◇

【福岡から】福岡の印刷業界は協組役員の新旧交替がスムーズに進み、若葉会初代会長の大隈瑞茂氏が理事長になり、協組と若葉会が一体となって業界発展につながっている。（末若直司）

◇

【熊本から】本会は県下全域を対象にしているため、熊本市内だけに会場を限っては出席も思うようにならないので、今年は県内各都市の会員がホストになり、地域の特色を生かした親睦会を多く催す行事予定になっています。（緒方光治）

◇

【大阪から】最近「はしゃぎ過ぎ」という言葉をよく耳にしますが、我々青年印刷人の組織活動について見ますとき、適度な「はしゃぎ」は必要なことでしょう。しかし、はしゃぎ過ぎると、それは疲れにもなるし、またシラけることにもなると思います。そこで地道でコンスタントな活動を根底とし、時に応じて適度にはしゃぐ、これが理想的な運営だろうと思っておりますが、このように何か客観的に会運営を見返る自分を見るとき、ふと歳をとったのかなと寂しく感じることもあります。そのせいか、アスレチックに通い体力づくりに励んでおりますが、一面心身ともステイキングしてくれる要素は、案外身近な会活動の中にあるのかもしれないとも感じております。

（作道亮雄）

★第3部 / ミニリサーチ

グループのお台所

前回は各グループの会員世代構成をちょっと調べさせていただきましたが、今回はまたまた失礼を承知で台所をのぞかせてもらいました。例によって特定の調査目的はありませんので、ノーコメントのまま以下ご紹介します。

グループ名	年会費	入会金	罰金制度
仙台刷親会	8,000円	1,000円	なし
福島印刷彩友会	10,000円	なし	なし
茨城緑友会	20,000円	5,000円	なし
長野青年印刷人緑友会	42,000円	なし	○年間行事半分以上欠席 6,000円 ○無断欠席 1回につき 500円
印刷同友会	18,000円	20,000円	※各集会費はそのつど原則として何割か負担してもらっている。
文京緑友会	12,000円	なし	なし
千代田印刷人新世会	24,000円	なし	なし
東京写真製版若葉会	17,000円 (今年14,400円から値上げ)	なし	○幹事会欠席 1,000円、遅刻 500円 (積立てて幹事会忘年会につかう)
名古屋而立会	60,000円	10,000円	なし
大阪青年印刷人クラブ	36,000円	3,000円	無断欠席 1,000円、遅刻 500円、 無回答 1,000円 (全員対象、積立ててチャリティへ)
神奈川正和会	36,000円	5,000円	なし
ぎふ印刷翠陽クラブ	40,000円	10,000円	無断欠席 500円、遅刻 300円 (年末に集計、新年宴会の景品等にあてる)
福岡印刷若葉会	24,000円	20,000円	なし
佐賀県印刷若楠会	30,000円	10,000円	なし
熊本印刷緑友会	24,000円	なし	なし

● 行事の記録

総会形式を修正へ

神戸で第19回総会開く

○…ニュースは少しさかのぼりますが、全国印刷緑友会の第19回定期総会が、4月24日神戸市六甲山上の六甲オリエンタルホテルで開かれ、ホスト役の神戸印刷若人会一流の洗練されたスマートな設営と進行ぶりの中で、参加約70人が会議と講演、そして交歓の午後を過しました。

この日午後1時すぎ開会、神戸の熊野利夫前幹事長が総会司会をつとめ、君が代斉唱、綱領唱和グループと来賓紹介のあと、先ごろ執務中にたおれ急逝された緑友会事務局の岩崎さんの霊に黙祷を捧げました。岩崎さん、永い間お世話をかけました。ありがとう。

○…就任して早々の岸時弘若人会幹事長が力強く歓迎のあいさつ、次いで筒井会長が「低成長下の激しい競争に勝つには経営のプロに徹しなければ」と訴えるあいさつをおくり、さらに先輩の中畑裕行兵庫印刷工組理事長から激励の祝辞を受けました。

祝電披露のあと議長に若山前会長を選任して議事に入り、事業報告を渡辺守将副会長、決算報告を渋谷徹夫常任幹事、同監査報告を八十島敏行監事、事業計画を筒井会長、予算計画を作道亮雄副会長がそれぞれ提案、いずれも原案どおり承認されました。

○…事業計画の中では、昨年11月名古屋で開かれた全国代表者会議（前号詳報）の経過が報告され、大会と総会の重複性を避けるため、今後は総会の性格を本来の会議本位に改め、出席者は各グループ1～2名に限定する方針が明らかにされました。

また今年度の主な事業は、①全国大会（9月18～19日、水戸市）②セミナー（明年2月）③工場見学（JC印刷部会に協賛）④緑友だより発行⑤創立20周年行事の開催準備などとなっています。これにともなう予算規模は156万6千円。

○…続いて審議事項に移り、渡辺副会長が従来

の西日本大会を緑友会から切離し、西日本地区グループの任意集会とすること、緑友会以外のグループも参加する「西日本青年印刷人の集い」を毎年企画し、その第一回を6月5日大阪で開くことなどを報告、承認を受けました。

次いで青木宏至千代田新世会幹事長が20周年記念大会の準備状況を報告。さらに次期総会は明年20周年記念総会として名古屋市で開くことを決めました。

○…議事を滞りなく終え午後4時から記念講演に移り、「ファッション都市化宣言、をした神戸市の新しい街づくりをライフワークとしている前神戸新聞社論説委員長の畑専一郎氏（神戸新聞出版センター）の講演を聴きました。

畑講師は新聞がとらえた戦後の世相をふり返りここへ来て直面している都市の課題をとり上げ、神戸のファッション化のために、ぜひ神戸に出版文化を呼びよせたいと自説を展開、数々の示唆を提供されました。

○…さて、夜はお楽しみの交歓。山頂から眺める神戸市内の夜景は百万ドルにもかえがたい情緒一。ピアノとバイオリンのアンサンブルが静かに会場を流れ、下界の神戸独特の粋な風情をそのまま持ち込んだ空気の中で、交流を楽しみました。

プロに徹する

・筒井会長のあいさつ

オイルショックを境に高度成長から低成長へ移り、三年越しの不況が続いたが、ようやく世界的に景気が明るさに向いつつあるのは朗報です。ただ印刷の場合は線香花火のようにパッと燃えてはすぐ消える需要の波のくり返しで、仕事不足と安値受注に明け暮れるのが現状ではないでしょうか。

低成長期に入って印刷界には果して何が起りつつあるのか。高度成長時代は素人に毛のはえた程度のことでも、どうやら経営は維持できました。しかしいま、大手という巨人同士の散らす火花が中小企業の分野にも飛び火しており、この激しい競争に打ち勝つにはプロの経営に徹しなければ

らないし、プロの中のプロでも容易なことではないことを肝に銘ずべきときだと思えます。

米フォーチュン誌は、20世紀から21世紀へかけての最大の投資産業は教育産業だとしています。教育産業の中で印刷は確かに一つの位置を占めているし、その一翼を担うのは自明の理でしょう。いかなる困難があろうとも、マジメに印刷という仕事を愛して努力すれば、将来は明るいと信じています。

先人の遺産守れ

・中畑理事長の祝辞

緑友会総会も19回、来年は20周年を迎えるが、私は会の最初から参加し、今もメンバーなのでユニフォーム姿で接待すべきところ、来賓という席をいただいてしまったが、緑友会の精神は創設以来脈々として引継がれていると思えます。

社会の価値観が大きく変化し、大きいことは必ずしもよいことではなく、消費は美德ではなくなった。この低成長期にいかにか生きるかが緑友の課題であり、地域差をなくして立派な印刷界をつくるのが緑友のテーマだと思えます。

しかし私はいつも言うように、印刷の発展の蔭には多くの先輩の大変な努力を忘れてはならないと思えます。それと同様に、古い時代の先人の遺した文化財を守り保存することも若い人の任務だと思えます。

印刷産業が知識集約型へと転換していく中で、かねて提唱している印刷博物館の問題を、どうかもう一度考えてみてほしい。建設準備委員会をつくって研究を進めていくが、各地でも貴重な文化財の保存にご協力下さるようお願いしたいと思います。

がんばれ神戸若人会

☆ 創立20周年記念の集い ☆

〇…若々しい理想を掲げて、友情の育成と街づくりの先頭に立ってきた神戸印刷若人会。その創立20周年を祝う「記念の集い」が6月27日午後3時から神戸・三宮の国際会館で盛大に開かれ、各地の緑友の仲間、県や市の関係者を含め約80人が

出席してその業績をしのび、前途を激励しました。

高木保二氏が開会のあいさつのあと、会場には静かにナレーションが流れます。

「一本の小さなあかり。身のまわりを照らすともしび。その一本の光が幾千幾万集まれば社会を照らす光となり、それはそのまま若人会精神につながる。ひとりひとりの会員にやどったこの光を今こそ結集して業界発展のために尽くそう」

その中を中央に輪を描いた会員のもつローソクの一本一本に火がともされて、会場の隅々まで照らす輝きとなり、集いの序幕があきました。

この20年、すでに高い社会的評価を得ている若人会の活動の記録が、次々とスライド紹介され、会下山の桜の植樹、街と公園を美しくする運動、ドルッパ視察、繰り返される研修会、いんさつ展など、20年を彩った数々のシーンを、ひととき回想一。

〇…このあと出席の来賓が紹介され、岸幹事長が「創始者である亡き武先輩の遺志を受け継ぎ、ただ懸命に努力を続け、この20周年を迎え胸がいっぱい。これからも微力ながら業界と社会のため何かのお役に立つよう心がけたい。ご支援とご鞭撻をお願いします」とあいさつ。

引続き筒井全国緑友会会長の発声で乾杯、金井元彦参院議員をはじめ各界の来賓のスピーチをまじえ、にぎやかな祝賀会に移りました。スピーチでは武さんにまつわるエピソードや追悼が相次ぎ亡き先輩の遺徳をしのばせましたが、「武さんを乗り越えて前進を一。それこそ武さんの遺志」と励ましの声もありました。

また席上、20周年記念行事として植樹を継続していくこと、印刷博物館建設への協力が打ち出され、若人会の20年の歩みを記録した冊子『さくらと共に』が参加者に贈られました。21年目ヘスタートを切る神戸印刷若人会、がんばれ！

